

長衣〈デール〉(女子用)

モンゴル—草原のかおりをたのしむ

B0107

ウランバートル・ノミン百貨店／モンゴル

参照資料

『草原の遊牧文明』

p.50、p.80



Д Э Э Л



デールには晴れ着と普段着があり、お出かけや結婚式など特別な日には絹でできたものや刺繍模様のはいたものを、それ以外の時には木綿のものまたは古くなった絹のデールを着用します。デールの下には洋服を着ており、ズボンにブーツというのが一般的です。伝統的なデールは風が隙間から入り込まないように工夫されており、ウマに乗るのに適したデザインになっています。一方、現代の都市部で暮らす人々、特に女性のデールは上下がわかれたスーツ型や、体のラインにそったドレス型など多種多様なデザインになっています。都市部では洋服が普段着であり、特別な日に「おしゃれ」デールを着る人が多いです。(〔参考文献〕野沢延行 1991『モンゴルの馬と遊牧民—大草原の生活誌』原書房)